

4つの表で見る永平寺町の財政のすがた

(平成22年度末時点)

永平寺町では、町の財政状況をより理解していただくため、「新地方公会計制度 総務省方式改訂モデル」に基づいて、町や一部事務組合などの関連団体も含めた連結ベースで、4つの財務書類を作成しました。

(わかりやすく表示するために、表示単位の変更、端数調整や表の組み替えを行っています)

資産・負債等の状況

貸借対照表

資産 64,055百万円	負債 21,326百万円
	純資産 42,729百万円

現金や基金といった流動資産・投資等は、5,335百万円になりその他に、道路、橋、上下水道や校舎といった公共資産があります。

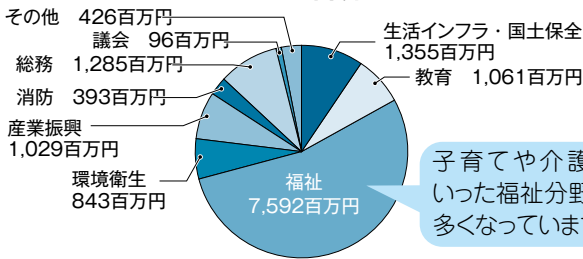
永平寺町一般会計分の起債残高は8,151百万円になります。

資産がどれだけあり、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを一目で分かるように示したものです。

左側に「資産」を表示し、右側に「負債」と資産と負債の差額である「純資産」を表示しています。

行政コストの状況

行政コスト計算書



子育てや介護といった福祉分野が多くなっています

経常行政コスト 14,080百万円

経常収益 4,081百万円

地方税、地方交付税や補助金などで賄う額

純経常行政コスト 9,999百万円

行政サービスに係るコストと使用料・手数料などの収入を示したものです。減価償却費などの非現金コストについても計上しています。経常行政コストから経常収益を差し引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

資金収支の状況

資金収支計算書

収入	支出
経常的収支の部 収入 14,220百万円 地方税、使用料や地方交付税など	経常的収支の部 支出 11,248百万円 扶助費などの社会保障給付や人件費など
公共資産整備収支の部 収入 863百万円	公共資産整備収支の部 支出 1,750百万円 公共資産整備のための支出など
投資・財務的収支の部 収入 192百万円 貸付金の回収や資産の売却など	投資・財務的収支の部 支出 2,234百万円 地方債の償還や基金積立てなど
当年度資金増減額 43百万円	

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて、区分して表示することで、どのような活動に資金を使用しているのかを示しています。

これらの表は下記の会計や一部事務組合を連結した数値で、永平寺町一般会計の決算(P2、3)の数値とは異なっています。

純資産変動の状況

純資産変動計算書

期首純資産残高 42,477百万円 (平成21年度末)

純経常行政コスト 9,999百万円

財源調達等 10,251百万円

町民税、交付税や補助金等の額

期末純資産残高 42,729百万円 (平成22年度末)

純資産が平成22年度中にどのように増減したかを明らかにするものです。

連結した会計
 (永平寺町) 一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、老人保健事業特別会計、介護保険特別会計、簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、上水道事業会計
 (一部事務組合) 福井県市町総合事務組合、福井坂井地区広域市町村圏事務組合、勝山・永平寺衛生管理組合、五領川公共下水道事務組合、福井県自治会館組合、こしの国広域事務組合、福井県後期高齢者医療広域連合